

貴重な体験の連続!! 充実・大満足の東京つくば研修

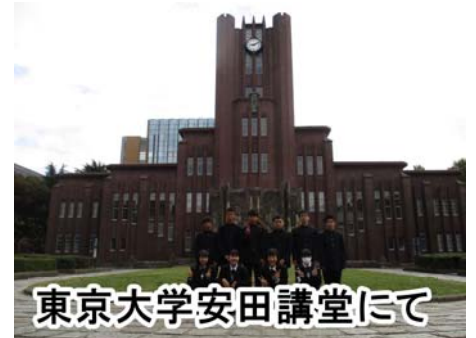
10月27日(土)から29日(月)までの2泊3日の日程で、2年生7名と1年生3名の計10名が、東京・つくば研修に参加しました。JAXAや東京大学、国会、日本科学未来館等などの施設見学や体験、そして、2日目の夜は先輩大学生5名との懇親会で、学習法を学ぶなど、大変充実した、そして貴重な3日間の研修となりました。また、参加生徒にとっては、とても満足度の高い研修でした。今回は、研修の様子と参加した2年生の吉光満桜さんの感想を紹介します。



JAXA筑波宇宙センター



東京大学赤門にて



東京大学安田講堂にて



イグノーベル賞展覧会



チームラボ



日本科学未来館



先輩大学生との懇親会の様子



衆議院本会議場



国会議事堂にて

普通科2年 吉光満桜さん(ここのえ緑陽中学校出身)

今回の研修では、多くの方から貴重な話が聞けたこと、また施設、大学見学を通して研究することの楽しさを実感することができたことなど、とても有意義な3日間となりました。

中でも一番印象に残っているのは、先輩大学生との懇親会です。先輩からは、勉強方法や模試対策、進路選択など、今自分が不安に感じている多くのことを学ぶことができました。「好きなもので勉強をする。自分なりの方法で勉強してほしい」という言葉には心を動かされました。

懇談会をはじめ、様々な施設を訪問することによって、私は興味や関心をもち、楽しく学ぶということが自分の目標を達成するために必要なことだと改めて実感することができました。今後、進路選択をする上で私がすべきことは、興味があることを調べる、勉強することだと思

うので、この研修で新たに興味を持ったことや元々興味があったことを研究したり、東京大学の先輩の話から吸収した勉強方法をこれからの学校生活にプラスして、進路選択に活かしていきたいと思います。

第4回美山収穫感謝祭 **たくさんのご来校、ありがとうございました!**

11月3日(土)に第4回美山収穫感謝祭を開催しました。玖珠郡内外の方や小・中学生、保護者など、非常にたくさんの方々にご来校いただき、大盛況のうちに終了することができました。参加していただいた全ての方々に感謝申し上げます。

午前中は、本校で栽培・加工した野菜や草花、加工品などの即売会や農業機械の試乗体験、和牛の体重あてクイズ、本校PTAの協力による食品バザー、科学教室等を行いました。午後からは、体育館において、普通科生徒2名による英語スピーチ発表と、テーマを「食は未来をつくる」としたパネルディスカッションなどを開催しました。農業と地域について考える、実り多い、意義深い一日となりました。今後とも、玖珠美山高校への、熱いご支援をお願いします。



野菜や加工品販売、お買い求めいただき、ありがとうございました。



別府大学と本校による
大麦プロジェクト



パンの販売



PTAの方々の食品バザー



子牛の体重当て



科学教室での万華鏡づくり



生徒会による募金活動



パネルディスカッション
「食は未来をつくる」



英語弁論発表

(左)幸野彩花さん(2年、東京都出身) (右)工藤妃加さん(1年、湯布院中出身)



英語WEB会議を台湾の高校と実施、県下初!NZラグビー選手も!

10月31日(水)6限、2年3組が台湾の慈済高級中学(高校1、2年)と英語WEB会議を行いました。このWEB会議とは、ICTを活用して海外の高校との遠隔交流を行うものです。学級での実施は県下初の取組であり、生徒の英語活用力や異文化理解の向上を目的として行われました。本校生徒、台湾高校生ともに、それぞれの地域や学校などに関する英語プレゼンテーションをお互いにテレビ画面を通して行いました。本校からは玖珠町や学校、部活動等の7つのトピックスについて、3人1組でテレビ画面に向かって、英語でのプレゼンをしました。

11月9日(金)には、NECグリーンロケッツラグビー部在籍のニュージーランド国籍選手との

交流を行います。

このWEB会議の取組は、今後も続けていき、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上や国際交流を目指していく予定です。



登山道保全整備活動 —地域産業科3年生「ふるさとの環境保全」—



11月5日(月)に、地域産業科3年生全員で、玖珠美山高校うつくし推進隊の活動一環として、地元登山道の保全整備活動を行いました。

この活動は、卒業を半年後に迎えた農業(環境)を学ぶ3年生が、ふるさとの自然環境保全(ミヤマキリシマ保護)に対する整備を通じて、歴史的な自然遺産の恵みを体得する目的で行われています。当日は、貸切バスで長者原ビジターセンターまで行き、長者原ビジターセンター長をはじめとする24名の指導者の指導を仰ぎながら、雨などによる登山道の土留めの修繕や登山者の歩く道の確保などの整備作業を行いました。今回の整備活動によって、年間20万人の人が訪れる九重山の登山者が気持ちよく、安全に山登りできるようになりました。

